

発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂を踏まえた 地質調査の実施について

平成 18 年 6 月 2 日
東京電力株式会社

発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂については、本年 4 月に原子力安全委員会の耐震指針検討分科会において改訂原案が取りまとめられ、現在実施中の意見公募を踏まえて正式に内容が決定される見通しです。

今回の改訂は、耐震安全性のより一層の向上を目指して、最新の知見を取り入れたものですが、既存の原子力発電所について、当社はこれまでも詳細な地質調査ならびに十分な裕度をもって耐震設計を行い、かつ適宜最新の知見に照らして耐震安全性を評価・確認してきており、耐震安全性は確保されていると考えています。

その一方で、当社は原子力発電所の耐震安全性に対する信頼性を一層向上させるため、既存の原子力発電所についても、改訂指針が決定された後は、その内容を踏まえた評価を計画的に実施することとしております。

この評価にあたっては、地質調査、基準地震動の策定、機器・建屋などの地震応答解析、耐震安全性評価という手順で実施する必要があることから、一定の期間を要するものと考えております。このため、早期にこの評価を行い得るよう、このたび、耐震安全性評価の第一段階として、改訂原案に照らしてこれまでの地質調査を補完するための調査を、各原子力発電所にて実施することとしましたのでお知らせいたします。

なお、このたびの調査は、関係各所と必要な調整等を行ったうえで、今夏から実施してまいりたいと考えております。

以 上

別紙：発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針改訂に対応した地質調査について